



市ホームページアドレス
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/

西東京の教育

平成27年(2015年)7月15日発行 第69号

＝発行＝
西東京市教育委員会
〒202-8555
西東京市中町1-5-1
電話 042-464-1311
＝編集＝
西東京市教育委員会
教育部教育企画課

よりよいサービスを目指して 中央図書館が40周年を迎えました



開館までの歩み

中央図書館は8月で開館40周年を迎えます。現在の中央図書館の場所には、もと田無第一中学校の校舎が建っていました。田無駅から南口に出て、緩やかな斜面に、たんぼぼが一面に広がる景色だったそうです。校舎は火災で焼失したため、現在地に移動して開校しました。

その跡地にできたのが、中央図書館と田無公民館で、中央図書館は昭和50(1975)年8月23日に開館しました。



竣工当時(1975年)

田無公民館の隣には中学校の体育館が焼失を免れて残り、市民のスポーツ活動の拠点として、その流れは「南町スポーツ・文化交流センターきらっと」に受け継がれています。中央図書館の前身は、市民会館3階にあった社会教育課所管の図書室でした。中学生以上の利用、貸出しが可能な施設で、当時は都立立川図書館の巡回図書館

「むらさき号」による貸出しも行われていました。昭和45(1970)年4月に東京都が「図書館政策の課題と対策(東京都の公共図書館の振興施策)」を発表しました。当時、多摩地域の自治体は、公共図書館がないところも多く、東京都による施策で建設費補助等の財政措置があったことで、一気に図書館建設が進みました。

旧田無市でも、田無市教育100周年記念事業企画委員会からの答申があり、昭和48(1973)年10月に図書館建設諮問委員会が発足し、協議を重ね中央図書館建設の方向性が示され、開館に至りました。

開館した頃の蔵書は約3万冊あったにもかかわらず、1箇月間で貸出冊数は延べ3万5千冊を超え、書架はいつも空っぽの状態でした。

開館への地域住民の取組

旧田無市と旧保谷市は、親子読書活動の盛んな地域でした。図書館が整備される以前から、子ども文庫や家庭文庫の活動が、市全域で行われ、地域の読書環境を一手に支えていました。

そうした地道な活動の中から、旧田無市にも公共図書館設立の願いが集まり、建設のための住民運動が起りました。昭和40年以降、多摩地域では多くの自治体で公共図書館が開

館し、その熱気が旧田無市や旧保谷市にも波及しました。



開館間もない開架室

図書館開館後も、子ども

文庫や家庭文庫と一緒に、地域文庫へ団体貸出を行い、本を置くスペースさえあれば、いつでも文庫が開設できるような仕組みを進めてきました。その流れは、現在の「子ども読書活動推進計画」にも受け継がれています。

図書館の取組

中央図書館には、地域・行政資料室が開設されており、旧田無市、旧保谷市時代からの地域・行政資料について収集、保存と提供を行っています。資料の収集範囲は、紙媒体だけでなく、音声、映像など様々な形態の資料があります。現在は、紙媒体資料の電子化を進め、図書館ホームページを使った地域の情報発信に力を入れています。

また、障害のある方へのサービスが本格的に始まったのは開館から10年ほど経ってからでした。宅配サービスや音声や点字に変

換した資料を提供するサービスを整備してきました。現在は、デジタル録音によるデジタル図書の製作を進めています。



児童コーナー

開館40年を迎えて

旧田無市、旧保谷市の合併を経て西東京市となつてからは、ICTタグを活用した蔵書管理、予約棚や自動貸出機の設置、またインターネットを活用した予約サービスなど、図書館の利用方法が大きく変わりました。

新しいサービスを進め、利用方法が変化しても、図書館の第一の役割は、必要とされる資料の収集・保存・提供を行う環境を整えていくことであり、その役割を継続していきます。



現在の中央図書館

開館40周年記念事業

スタンプリリー めざせ！
図書館マスター★

来館時に各館カウンターにてスタンプを押します(1人1日1回)。各ポイントで、児童書に関するクイズに答えながらスタンプを集め、ゴールした人には特別賞をプレゼントします。

▼対象 小学生

▼期間 7月15日(水)～平成28年3月31日(木)

人形劇公演

「劇団なるにあ」による、人形劇「まほう使いの弟子」を公演します。先着70名まで、8月6日(木)午前10時より中央図書館にて整理券を発行します。

▼場所 田無公民館

▼対象 小学生までの子どもとその保護者

▼日時 8月26日(水)午後3時

西東京市文化人冊子の作成

西東京市にゆかりのある文化人を紹介する冊子を行います。対象となる文化人は、開館以来保存してきた「西東京市に関わりのある人物の著作」の収集対象者から選ぶ予定です。

◆図書館

042(465)0823

